

放送日 令和6年12月2日(月)
担当者 環境課 主査 藤本 圭吾

おはようございます。環境課の藤本です。

今日は私が仕事をする上で日頃から意識している「リテラシー」についてお話いたします。

ネットリテラシーや金融リテラシー等は聞き慣れた言葉かと思います。リテラシーという言葉直訳すると「読み書きの能力」という意味ですが、現代ビジネスにおけるリテラシーとは「情報を適切に理解し、解釈して活用する能力」という意味となります。

例えば、仕事で何か新しく資料を作成しようとする時、多くの方はインターネットで前例を調べたり、先輩に聞いたりすると思います。ネット上には大体の情報が転がっていますし、職場の先輩に聞けば優しく教えてくれるでしょう。ただ、ここからが難しいところで、私たちの仕事において「ネットに載っていたから」「先輩が言っていたから」では通用しません。

だからこそ、一つの情報を鵜呑みにせず、その情報が適切である根拠を自ら調べあげる努力も必要ですし、このことならこの人に聞けば間違いのないという人を見つけ出し、関係性を築いておくことも大切です。

私もまだまだ未熟者ですが、引き続き市役所で働く上でのリテラシーを意識的に高めていきたいと思っています。

放送日 令和6年12月4日（水）
担当者 子ども家庭課 主査 中川 翔

おはようございます。子育て支援部子ども家庭課子ども支援担当主査の中川です。

子ども家庭課では、児童手当や児童扶養手当の支給、ひとり親家庭の支援、ショートステイ、病児緊急預かりなどの子育て施策、子ども・子育て支援プランの推進、子どもの権利擁護などの施策を行っております。

この中でも、子どもの権利擁護事業ですが、北広島市の子どもの権利条例では、先月の11月を子どもの権利月間と位置付けており、市民ギャラリーやエルフィンパークにおいて子どもの権利パネル展を実施しました。

子どもの権利条例を制定している市町村は道内でも、本市を含めてまだ6つしかありませんが、令和5年にこども基本法が施行され、子どもの権利について定められたことから、今では日本全国で考えるべき問題となっています。引き続き、子どもの権利について広報 周知活動を続けて参ります。

また、私は現在、来年度から施行予定の北広島市こども計画を策定しているところです。こども施策審議会や関係する皆様方にはお忙しい中にもかかわらずご協力をいただき、ありがとうございます。北広島市の子育て支援の充実のため、まずはしっかりとした計画を作ってまいります。

放送日 令和6年12月6日(金)
担当者 土木事務所 主査 尾暮 大輔

おはようございます。建設部土木事務所の尾暮大輔です。

私は約10年の社会人経験を経て平成30年に入庁し、早いもので7年目を迎えました。今年4月からは主査職として立場も変わり、これまでとは違う目線、視点を持ちながら日々業務に当たっていますが、大切にしていることは机の上の整理整頓です。私は苦手と感じているからこそ、意識するようになっています。

前職の時に、とある社長から「玄関は会社の顔である。玄関に入るとその会社がわかる。」と教わりました。まともな接客ができず、清掃も行き届かないような会社は、その姿勢が玄関に表れる、というものです。この教えは、個々の机の上にも通ずるものと思います。

今年受講した研修において副市長からも整理整頓の大切さについてお話がありました。机の上の仕事環境を整えることで風通しの良い職場環境につながり、それが市民サービスの向上につながると再認識したところです。

今年も残り26日となりましたが、予算資料で煩雑な職場の机はもちろんのこと、子供の野球道具が散乱した自宅玄関も新年に向けて少しずつ綺麗にしていきたいと思います。

最後に、今週から12月に入り雪の季節に突入しました。穏やかな冬であることを祈るばかりですが、冬期間も皆さんが安心して生活できるよう、車道や歩道の除雪作業を行ううえで皆さんのご協力が欠かせません。今冬期も除雪作業にご理解とご協力をお願いします。

放送日 令和6年12月9日（月）
担当者 経営管理課 主査 佐々木 正人

おはようございます。水道部経営管理課の佐々木です。

経営管理課は水道部の財務・契約・会計など幅広い業務を行うため、力を合わせる事が大切な課だと感じております。

今日は私が仕事で心がけている2つのことをお伝えします。

1つ目は「自分に負けない」ことです。私が配属された係でひたすらに業務と向き合い、頼りにされている先輩がいました。ある時、私の仕事のやり方が正しいかその先輩へ相談したことがあります。その時に「正しいと思うならやったほうが良い。手を抜いたなら自分に負けたことになる。」と言われました。もちろん、組織で仕事をするうえで周りとの協調することは大切です。ただ、それを言い訳にして諦め、手を抜くことは楽な方に流された自分に負けることだとそれ以降、仕事への向き合い方を考えるようになりました。

2つ目は「感謝を忘れない」ことです。「やって当たり前」「自分の時はそうだった」等、どこかで聞いたり、言ったことはないでしょうか。市役所で働く人にはそれぞれ得手不得手があり、様々な経験をしている幅広い年齢層の方がいます。自分も例外ではありません。完璧な人はいないと思っています。大事なのは互いに当然と思うのではなく、考えを受け止め、感謝を伝えること、助かったと伝えることだと思います。助けてばかりと感じていても、思わぬところで助けられたり、逆もあるはずですよ。

私も助けられてばかりではなく助けられるよう、自分に負けず周りへの感謝を忘れず業務に取り組んでいきたいと思っております。

放送日 令和6年12月11日（水）
担当者 総務課 北村 莉紗

おはようございます。総務課の北村莉紗です。初めての方も多いと思いますので、簡単な自己紹介から始めさせていただきます。

私は今年の10月から入庁しまして入庁から約2か月が経過いたしました。前職ではハウスメーカーに勤務しており、新築のお家を建てる仕事をしていました。現在は総務課に所属しており、主に庁舎の管理を担当しております。

一見全く違う業務に携わっているようですが、私自身似ている部分もあると感じております。前職では、お客様がより快適にお住まいいただける空間の提供を行っており、土地を探したり、図面を書いたり幅広い業務に携わっておりました。現在は役所に来庁される市民の方々や役所で働く多くの職員の方々がより快適に過ごせるよう努めております。

もちろん異なる部分も多い為、毎日新しい業務に触れ、先輩方に助けていただくことばかりですが、信念は変わらず、毎日やりがいを感じて働くことができます。総務課は様々な部署と関わる業務が多い為、至らない点が多くご迷惑をおかけしますが、業務の幅を増やせるよう努めてまいります。

また、総務課は市民の方からの問い合わせも多く、私自身もっと北広島市の魅力に触れていきたいと思いますので先輩方が思う北広島市の魅力など教えてくださいますと嬉しいです。これからよろしく願いいたします。

放送日 令和6年12月13日(金)
担当者 市民生活課 雪野 雅敬

おはようございます。市民生活課の雪野雅敬です。

北海道警察に7年半勤務し、10月1日に新任職員として北広島市役所へ入庁しました。前職と比べて聞き慣れない言葉も多く、戸惑うことありますが、上司や周囲の先輩職員に支えてもらいながら、日々の業務に取り組んでいます。

本日は私が携わっている業務の中で、「交通安全」についてお話をしたいと思っています。皆さんは「交通安全」について、どういったイメージをお持ちでしょうか。私は前職の経験の中で、一時不停止・信号無視などの違反者の取り締まりが「交通安全」に結びつくものであると感じており、市民の方から理解を得られないことも多くあるイメージでした。しかし、市民生活課に配属になり、すぐにそれだけではないということに気が付きました。子ども達の見守り活動や早朝の街頭啓発活動、交通安全教室の実施など、町内会・学校関係者をはじめとした、本当に多くの地域の方々にご協力をいただきながら、北広島市の「交通安全」は守られているのだと感じるようになりました。本業があるにも関わらず、「交通安全」活動に従事する地域の方々の姿を見ると、非常に頼もしく、ありがたいことであると日々感じております。「交通安全」とは、市民の方々や関係団体等と一緒に作り上げていくものであり、その一端を担えることに誇りを感じ、日々の業務に取り組んでいきたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。

放送日 令和6年12月16日(月)
担当者 子ども家庭課 布施 智基

おはようございます。子ども家庭課の布施智基です。

10月に入庁し子育て支援部子ども家庭課学童担当として勤務を始めて、早くも二か月が経過し今年もあとわずかとなってしまいました。

前職である北海道警察職員として遺失拾得物の取り扱いや物品管理を行っていたころとは、毛色の違う業務を経験させていただき、学ぶことの多い楽しい日々を過ごさせてもらっています。

今回私が担当することになった学童保育とは、保護者が様々な理由によって昼間保育できない児童に対して家庭に代わる生活の場を提供し、適切な遊びや指導を通して健全な育成を行うための制度です。

共働きが当たり前となりつつある現代社会において、保護者の負担軽減のためにも重要度が年々高まりつつある分野でもあり、学童保育は子ども達の安全安心な遊び場の確保、学年の垣根を超えた交流や自由な遊びを通しての協調性、創造性の育成など様々な側面を持ちます。

どれも子どもの健全育成に欠かせない要素であり、その一端を担うことができうれしく思います。これからも児童が明るく元気に過ごせるように、そして保護者の負担が少しでも減るように願いつつ業務に邁進していきたいと思っております。

放送日 令和6年12月18日(水)
担当者 文化課 相馬 立法

おはようございます。教育部文化課主査の相馬立法です。

9月より北広島市図書館に配属となり勤務しています。私は、斜里町役場職員として15年、民間企業で8年半勤務してきました。公共図書館での勤務は、北広島市で4館目となります。その経験の中で、公共図書館では、館ごとに特徴のあるサービスや本の提供が行われていることを学んできました。地域に住んでいる方がどのような本を好み、どのようなイベントに興味をもつのか、それぞれの図書館の歴史の中で、代々引き継がれたことが蓄積し、その館の特徴となることで、サービスの内容が異なっていることも公共図書館の面白いところです。

この数年でスマートフォンアプリの発展や、サブスクリプションによる動画配信サイトの規模の拡大により、余暇時間がスマートフォンやテレビを見る時間に費やされています。そういった中でも、本を提供する図書館の果たす役割があることを認識し、全国の図書館の事例を参考として見極めながら、これからの時代に即した図書館サービスを検討していきたいと考えています。

北広島市図書館は、平成10年の開館から26年が経過した建物です。今後、大規模改修を行うこととなると思いますが、時代に合ったサービスへの対応が可能となるように図書館の機能性や拡張性も含めた検討を行ってまいりたいと考えています。

放送日 令和6年12月20日(金)
担当者 経営管理課 細谷 夏姫

おはようございます。水道部経営管理課の細谷夏姫です。

私は3年半の社会人経験を経て、今年の10月に入庁しました。前職は地方公務員として、医療や子育てに関する業務に携わっていたため、水道や企業会計に関する知識を持ち合わせておらず、周囲の皆様に支えていただきながら、日々勉強しているところです。

本日は、私が仕事をするうえで心掛けていることをお話しさせていただきます。一つ目は、相手の立場に立って考えることです。支えてくださる周囲の方や、資料を読む相手など、自分の仕事の先にいる相手との信頼関係を築くために、自分のタイミングで声をかけたり、自分の知識を軸に資料を作成したりするのではなく、相手の業務の邪魔にならないタイミングを計ったり、相手に合った資料を作成したりすることを意識しています。

二つ目は、意味を考えることです。根拠や経緯を理解しないまま過去の決裁等を複写することは、自分の知識に繋がらないだけでなく、自分の仕事に責任を持っていないことになると考えているため、過去の決裁等はあくまで参考とし、自分がなぜその業務を行うのかを理解できるよう、心がけています。

最後になりますが、庁内外問わず信頼される職員となれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

放送日 令和6年12月23日(月)
担当者 DX推進課 小山田 俊

おはようございます。総務部DX推進課の小山田俊です。

9月に入庁し、4か月が経過しようとしています。前職では、厚真町役場で6年半ほど務めており、庁内システムの導入や運用などの業務に携わってまいりました。そこで培った経験は、現在の業務にも活かせるものが多くあります。しかしながら、導入しているシステムやネットワークの構成は自治体ごとに異なっているため、新しい知識を身に付ける必要もあり、気づきや学びの多い、充実した日々を送らせていただいています。

現在は、職員のパソコンなどのトラブル対応をさせていただく機会が多いのですが、できるだけ迅速な対応をすることを心がけています。迅速に対応することが職員の円滑な業務につながり、そのことが市民の皆様へのよりよい行政サービスの提供につながると考えています。

最後にDXについてですが、業務のDX推進には前例踏襲を当たり前せず、より良いものに変革しようとする積極性や考え方が必要です。業務一つ一つの意味を考え、改善して効率化できる点がないかという視点を常に持って業務に取り組み、市のDX化に貢献できるよう精進していこうと思います。

放送日 令和6年12月25日（水）
担当者 学校教育課 菅原 里奈

おはようございます。教育部学校教育課の菅原里奈です。

私は、約3年半の社会人経験を経て今年9月に入庁しました。前職では、北海道内の河川や道路といった社会基盤の整備を推進するため、主に公共工事の発注手続きに携わっていました。このたび新たな分野での再スタートとなり、緊張の連続ではありますが、先輩方の温かいご指導のおかげで業務に取り組むことができています。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、現在私が担当しているのは、教職員の任用に関する手続きや、就学援助の認定手続きなどといった業務です。入庁する前までは、教育について「受ける側」の視点でしか意識する機会がありませんでしたが、この4ヶ月を通して、その奥の深さを知りました。教育は数多くの関係者の協力のもとに成り立っており、教育委員会として学校や家庭、地域と連携を積み重ね、子どもたちの成長を支える仕組みの一端を担えることに、責任の重さを感じるとともに、気が引き締まる思いです。

しかし、日々の業務の中で、自らの知識や経験の不足を痛感する場面も多くあります。これからは、ただ業務をこなすだけでなく、その先にいる市民の皆様のために何ができるのかを考えながら取り組んでいけるよう、業務に臨んでいきたいと思います。そして、この気持ちを忘れず、関わっていく方々に信頼される職員を目指して精進してまいります。